

# 丹口隨想

## 須知高のルーツ

彼は1876(明治9)年に開校した京都府農牧学校の主任教師である。須知高の歴史をつくり、蒲生野ケ原の荒蕪地を開拓し多大な恩恵を地元にもたらした。その業績は文献や伝承から知ることができますが、6年間

先日、府立須知高校の収穫感謝祭に出席し、晚秋の校内を久し振りに歩いた。自然に包まれた校舎や広大な農場に目をやりながら、この地に学校を開くことを京都府に進言したアメリカ人の農学者ジェームス・オースチン・ウィード氏のことを考えていた。

（平成19）年は府農牧学校創立130周年、須知高等学校開校60年の節目に当たつていた。記念式典を実施するなら、ウイード氏の「子孫を捜して式典の主賓として来日していただき」ということになつた



## 今も残る130年前の開拓精神

にわたる府との雇用が切れてから後の動向がよくわかつてない。ウイード氏は顕彰されることもなく去つていったのである。学校ではウイード氏の消息を求め、過去何度も調査を試みたが確たる成果は上がらなかつた。

私も校長として在職してい  
た3年前にウイード氏探しを

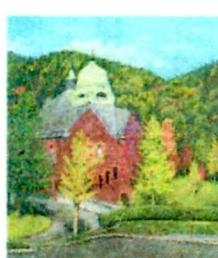
り、人物は符合する。名前が間違いないかもう一度資料を確かめた。「京都府雇米国人ゼームス・オースタキンウキード農牧教師居住地丹波船井郡第三区須知村金剛

NPO法人「丹波みらい研究会」顧問 湊敏  
た。ウイードの農牧学校赴  
当時の年齢は49歳で生年月  
た。  
頓挫し式典招待も見送ら  
みなど

た。調査は米国在住の卒業生や帰国した元A E T（英語指導助手）に依頼してウード氏の出生地探しから始めた。苦労の末、アイオワ州ベントン郡の国勢調査の中には書かれた5人のWeedという人物にたどりついた。5人の中ではセカンドネームがジームスと書かれているのは「James A」一人である。

今年の6月、ウイード氏の  
居住地とされた旧金剛寺跡  
地を須知区役員として整備  
作業をした。当時の金剛寺  
は旧須知小学校グラウンド  
の上の山間地にあった。境  
内があつたと思われる高台に  
立つと正面に美女山、眼下  
に須知の町が見えた。ウイ

**敏**



の発展を願つたことであろう。ウイード氏は今いす。彼はどこから来て、どこに帰つたのか。今もその消息を知りたいという思いが募る。

「無事、ふるさとアメリカの我が家に辿り着きましたか。ウイードさん」

秋彩の季節 谷村敏明  
(亀岡油絵想話会)

ード氏も同じ場所から、講義の中で羊300頭を放牧すべきと説いた丹波船井郡須知村の蒲生野、新町村の胡麻野、上野村の慶安野を一望していたのかもしれない。荒蕪地開拓に夢を抱いて迎えた師走とお正月、ウイード氏は人々の暮らしを眺めながら町

丹

波

京都新聞廣告扱

営業工ナア(宮津市・京丹後市・与謝野町・伊根町・豊岡市)  
お申し込みは  
**80772-122-2734**  
FAX 0772-222-0460

丹波絵局

前金ヶ町安町市岡尾  
郵便番号 621-0805  
代表(0771)22-3515  
FAX(0771)22-3517  
[tanba@mb.kyoto-np.co.jp](mailto:tanba@mb.kyoto-np.co.jp)

南丹支局